



サテライトオフィスという新たな“働き方”によって地方での採用が可能となります。

そして、最大の魅力は、仕事をの休憩中に山や川、海などの大自然とふれあい、地元の人々と触れ合うことで社員が元気になることが企業にとって最大のメリットなのかもしれません。

変わりゆく仕事の 新たな価値観

これから10年から20年の間に、現在ある「仕事」の約49%は人工知能やロボットが代替するという研究結果が発表されています（株）野村総合研究所）。また、現在の小学生の約65%は今はない「仕事」に就くことを予測している研究発表もあります（米ニューヨーク市立大学キャシー・デビッドソン教授の研究）。

このように今後10年程で社会は大きく変化し、将来を担う子どもたちは、この潮流の中で生活していくことになります。それはこれまでの大人が誰も経験していない新しい価値観です。

特集。サテライトオフィス 新たな働き方による「しごと作り」

おためし
サテライト
オフィス

子どもた

刺激を与え、また彼らのライフスタイルに合わせた新しい仕事が生れることにもつながります。

モデル事業

錦江町では、サテライトオフィスを新たな仕事づくりの「きっかけ」として誘致しようと考えていたところ、総務省のモデル事業として採択されました。

平成28年度に採択された10団体の一つで、九州では唯一、町としても唯一として注目を集めましたが、総務省からも「最も具体性があった」との採択理由をいただきました。

このモデル事業は、あくまで「お試し」勤務で、6月から8月の期間中の短期の滞在ではありますが、4月25日現在で7社が決定し、他にも3社ほどが希望しており日程を調整中です。

サテライトオフィスは、総合戦略の「しごとづくり」、「なまづくり」、「ひとづくり」のほんの一部にすぎませんが、この取り組みが子どもたちの希望に満ちた未来をつくるきっかけになると考えています。